



近大行くなら

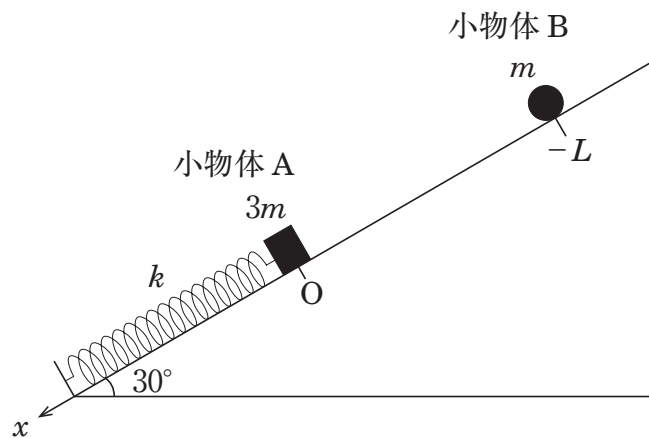
マナビズム

近大 × マナビズム
過去問解説2025
テキスト **物理**

物 理

以下の 1 から 28 にあてはまる最も適切な答えを各解答群から 1 つ選び、解答用紙（マークシート）にマークせよ。ただし、同じ番号をくり返し選んでもよい。数値を選ぶ場合は最も近い値を選ぶものとする。

- I 図のように、水平面と角度 30° をなすなめらかな斜面に沿って、ばね定数 k の軽いばねが一端を固定して置かれている。他端には質量 $3m$ の小物体 A が取り付けられ、つりあいの位置で静止している。このつりあいの位置を原点 O とし、斜面に沿って下向きに x 軸をとる。 $x = -L$ ($L > 0$) の位置に質量 m の小物体 B を置き、初速度の大きさ 0 で斜面に沿ってすべらせ、A と 1 回目の衝突をさせた。ここで、空気抵抗や斜面からの摩擦力は無視できるものとし、A と B の運動は全て紙面内に限るものとする。衝突は瞬間的に起こり、その際の重力やばねの影響は無視できるものとする。また、ばねはフックの法則が成立する範囲内で伸び縮みする。重力加速度の大きさを g とし、速度は斜面に沿って下向きを正とする。



- (1) A と B が衝突する直前の B の速度 v_0 は、 $v_0 = \boxed{1}$ である。A と B の間の反発係数 (はねかえり係数) を e とすると、衝突直後の A の速度は $v_A = \boxed{2} \times v_0$ であり、B の速度は $v_B = \boxed{3} \times v_0$ である。

$\boxed{1}$ の解答群

- ① $\frac{\sqrt{gL}}{2}$ ② \sqrt{gL} ③ $\sqrt{2gL}$ ④ $\frac{\sqrt{3gL}}{2}$
 ⑤ $\frac{1}{2} \sqrt{\frac{L}{g}}$ ⑥ $\sqrt{\frac{L}{g}}$ ⑦ $\sqrt{\frac{2L}{g}}$ ⑧ $\frac{1}{2} \sqrt{\frac{3L}{g}}$

$\boxed{2}$, $\boxed{3}$ の解答群

- ① $\frac{1-e}{2}$ ② $\frac{1+e}{2}$ ③ $\frac{3-e}{2}$ ④ $\frac{1-3e}{2}$
 ⑤ $\frac{1-e}{4}$ ⑥ $\frac{1+e}{4}$ ⑦ $\frac{3-e}{4}$ ⑧ $\frac{1-3e}{4}$

(2) A と B の衝突が弾性衝突である場合 ($e=1$) について考える。1 回目の衝突後, A は斜面に沿って下向きに, B は斜面に沿って上向きに運動をはじめた。A が 1 回目の衝突の瞬間からはじめて最下点に達するまでの時間は $\boxed{4} \times \sqrt{\frac{m}{k}}$ である。また, その最下点の位置は $x = \boxed{5} \times \sqrt{\frac{m}{k}} v_0$ である。

$\boxed{4}$, $\boxed{5}$ の解答群

- ① $\frac{1}{4}$ ② $\frac{\sqrt{3}}{4}$ ③ $\frac{1}{2}$ ④ $\frac{\sqrt{3}}{2}$ ⑤ 1 ⑥ $\sqrt{3}$
- ⑦ $\frac{1}{4}\pi$ ⑧ $\frac{\sqrt{3}}{4}\pi$ ⑨ $\frac{1}{2}\pi$ ⑩ $\frac{\sqrt{3}}{2}\pi$ a π b $\sqrt{3}\pi$

- (3) A と B が衝突した後に一体となって運動をした場合について考える。一体となった物体の衝突直後の速さは、 $\boxed{6} \times v_0$ である。一体となった物体は斜面上で単振動をした。この単振動の中心の位置は、 $x = \boxed{7} \times \frac{mg}{k}$ である。また、一体となった物体が到達する最下点の位置は、 $x = \boxed{8} \times \frac{mg}{k}$ である。

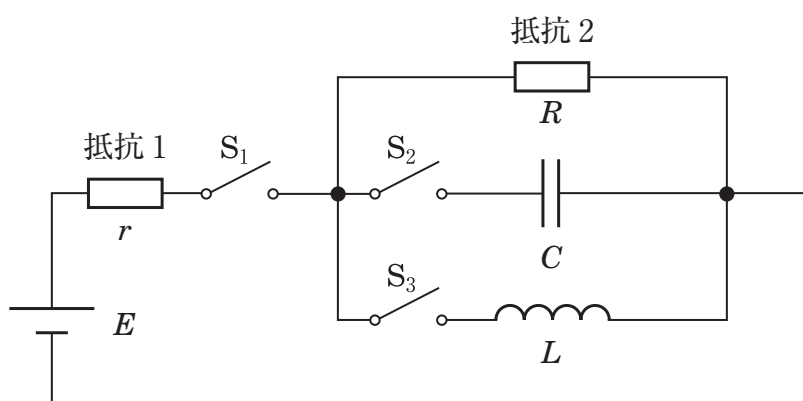
$\boxed{6}$, $\boxed{7}$ の解答群

- ① 1 ② $\frac{\sqrt{3}}{2}$ ③ $\frac{3}{4}$ ④ $\frac{2}{3}$ ⑤ $\frac{\sqrt{3}}{3}$
 ⑥ $\frac{1}{2}$ ⑦ $\frac{\sqrt{3}}{4}$ ⑧ $\frac{1}{3}$ ⑨ $\frac{1}{4}$ ⑩ 0

$\boxed{8}$ の解答群

- ① $\frac{1}{2} \left(1 + \sqrt{1 + \frac{kL}{mg}} \right)$ ② $\frac{1}{2} \left(1 + \sqrt{1 + \frac{kL}{4mg}} \right)$ ③ $\frac{1}{2} \left(1 + \sqrt{1 + \frac{4kL}{mg}} \right)$
 ④ $\left(1 + \sqrt{1 + \frac{kL}{mg}} \right)$ ⑤ $\left(1 + \sqrt{1 + \frac{kL}{4mg}} \right)$ ⑥ $\left(1 + \sqrt{1 + \frac{4kL}{mg}} \right)$
 ⑦ $2 \left(1 + \sqrt{1 + \frac{kL}{mg}} \right)$ ⑧ $2 \left(1 + \sqrt{1 + \frac{kL}{4mg}} \right)$ ⑨ $2 \left(1 + \sqrt{1 + \frac{4kL}{mg}} \right)$

Ⅱ 図のように抵抗値 r $[\Omega]$ の抵抗 1 と R $[\Omega]$ の抵抗 2，電気容量 C $[\text{F}]$ のコンデンサー，自己インダクタンス L $[\text{H}]$ のコイル，スイッチ S_1 ， S_2 および S_3 と，起電力 E $[\text{V}]$ の電池からなる回路がある。はじめ，コンデンサーは充電されておらず，スイッチは全て切れている状態である。また，電池の内部抵抗，導線の抵抗は無視できる。



- (1) スイッチ S_2 を入れてからスイッチ S_1 を入れた直後に抵抗 1 に流れる電流は 9 $[\text{A}]$ である。スイッチ S_1 を入れてから十分に時間が経った。抵抗 1 の両端の電位差は 10 $\times E$ $[\text{V}]$ であり，抵抗 2 で消費されている電力は 11 $\times \frac{E^2}{R}$ $[\text{W}]$ である。このとき，コンデンサーに蓄えられている電気量は 12 $\times CE$ $[\text{C}]$ である。

続いてスイッチ S_2 を入れたままスイッチ S_1 を切った後，十分時間がたったときに，コンデンサーに蓄えられている電気量は 13 $\times CE$ $[\text{C}]$ である。スイッチを切った後から十分時間がたったときまでに抵抗 2 で生じるジュール熱は 14 $\times CE^2$ $[\text{J}]$ である。

9 の解答群

- ① $\frac{E}{r}$ ② $\frac{E}{R}$ ③ $\frac{E}{r+R}$ ④ $\frac{r}{E}$ ⑤ $\frac{R}{E}$ ⑥ $\frac{r+R}{E}$ ⑦ 0

10 ~ 14 の解答群

- ① $\frac{r}{2(r+R)}$ ② $\frac{R}{2(r+R)}$ ③ $\frac{1}{2} \left(\frac{r}{r+R} \right)^2$ ④ $\frac{1}{2} \left(\frac{R}{r+R} \right)^2$
⑤ $\frac{r}{r+R}$ ⑥ $\frac{R}{r+R}$ ⑦ $\left(\frac{r}{r+R} \right)^2$ ⑧ $\left(\frac{R}{r+R} \right)^2$
⑨ $\frac{2r}{r+R}$ ⑩ $\frac{2R}{r+R}$ ㉑ $2 \left(\frac{r}{r+R} \right)^2$ ㉒ $2 \left(\frac{R}{r+R} \right)^2$
㉓ 0

- (2) 回路をはじめの状態に戻した。スイッチ S_3 を入れてから、 S_1 を入れた直後に抵抗 1 を流れる電流は 15 [A] である。その後、十分時間がたったときにコイルに蓄えられるエネルギーは $L \times$ 16 [J] である。

15 の解答群

- | | | |
|------------------|------------------|------------------------|
| ① $\frac{E}{2r}$ | ② $\frac{E}{2R}$ | ③ $\frac{E}{2(r+R)}$ |
| ④ $\frac{E}{r}$ | ⑤ $\frac{E}{R}$ | ⑥ $\frac{E}{r+R}$ |
| ⑦ $\frac{2E}{r}$ | ⑧ $\frac{2E}{R}$ | ⑨ $\frac{2E}{r+R}$ ⑩ 0 |

16 の解答群

- | | | |
|--|--|--|
| ① $\frac{1}{2} \left(\frac{E}{r} \right)^2$ | ② $\frac{1}{2} \left(\frac{E}{R} \right)^2$ | ③ $\frac{1}{2} \left(\frac{E}{r+R} \right)^2$ |
| ④ $\left(\frac{E}{r} \right)^2$ | ⑤ $\left(\frac{E}{R} \right)^2$ | ⑥ $\left(\frac{E}{r+R} \right)^2$ |
| ⑦ $2 \left(\frac{E}{r} \right)^2$ | ⑧ $2 \left(\frac{E}{R} \right)^2$ | ⑨ $2 \left(\frac{E}{r+R} \right)^2$ ⑩ 0 |

- (3) 回路をはじめの状態に戻した。スイッチ S_2 と S_3 を入れてから、 S_1 を入れた直後に抵抗 1 を流れる電流は 17 [A] である。その後、十分時間がたったときにコイルに蓄えられるエネルギーは $L \times$ 18 [J] である。

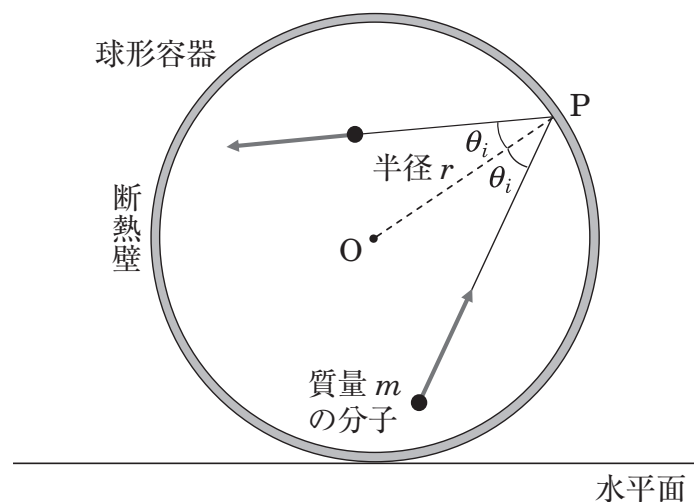
17 の解答群

- | | | |
|------------------|------------------|------------------------|
| ① $\frac{E}{2r}$ | ② $\frac{E}{2R}$ | ③ $\frac{E}{2(r+R)}$ |
| ④ $\frac{E}{r}$ | ⑤ $\frac{E}{R}$ | ⑥ $\frac{E}{r+R}$ |
| ⑦ $\frac{2E}{r}$ | ⑧ $\frac{2E}{R}$ | ⑨ $\frac{2E}{r+R}$ ⑩ 0 |

18 の解答群

- | | | |
|--|--|--|
| ① $\frac{1}{2} \left(\frac{E}{r} \right)^2$ | ② $\frac{1}{2} \left(\frac{E}{R} \right)^2$ | ③ $\frac{1}{2} \left(\frac{E}{r+R} \right)^2$ |
| ④ $\left(\frac{E}{r} \right)^2$ | ⑤ $\left(\frac{E}{R} \right)^2$ | ⑥ $\left(\frac{E}{r+R} \right)^2$ |
| ⑦ $2 \left(\frac{E}{r} \right)^2$ | ⑧ $2 \left(\frac{E}{R} \right)^2$ | ⑨ $2 \left(\frac{E}{r+R} \right)^2$ ⑩ 0 |

Ⅲ 図に示すように、半径 r [m] の球形容器が水平面上に静止していて、その中に 1 種類の単原子分子からなる理想気体が入っている。その単原子分子 1 つの質量を m [kg]、気体分子の個数を N 個、気体の温度を T [K] とする。容器は硬い断熱材によってできていて、中の気体は熱平衡にあるとする。ボルツマン定数を k [J/K]、重力加速度の大きさを g [m/s²] とする。



容器内を飛び回っている気体分子を考える。分子に加わる重力をいったん無視する。気体分子は互いに衝突せず、内壁のみと弾性衝突を繰り返すとする。気体分子のうちある一つを i 番目 ($1 \leq i \leq N$) の分子と呼び、この i 番目の分子の速さを v_i [m/s] とする。この分子は球の中心 O と衝突点 P を結ぶ線分と θ_i [rad] の角をなして衝突した。この分子がもつ運動量の大きさは [kg・m/s] である。また、この分子が、内壁に 1 回衝突したとき、内壁に与える力積の大きさは [N・s] である。一度内壁に衝突してから次に衝突するまでに、この分子は距離 [m] だけ移動しなくてはならないので、 t 秒間に $\times t$ 回内壁に衝突することになる。したがって、 t 秒間に大きさ \times $\times t$ [N・s] の力積を内壁に与える。この分子が壁面に加える力の大きさの時間平均を f_i [N] とすると、 t 秒間に分子が壁面に加える力積は $f_i t$ [N・s] である。したがって、 $f_i =$ \times [N] と表せる。この気体の圧力 p [Pa] はすべての気体分子が内壁 1 m² あたりに加える力の大きさと等しいので、速さの 2 乗の平均値 $\overline{v^2}$ [m²/s²] を用いて $p =$ $\times m N \overline{v^2}$ [Pa] と表すことができる。ここで、速さの 2 乗の平均値は

$$\overline{v^2} = \frac{v_1^2 + v_2^2 + v_3^2 + \cdots + v_N^2}{N}$$

という形で与えられる。したがって、温度 T [K] におけるこの気体分子一つあたりの平均の運動エネルギーは 24 $\times kT$ [J] である。

上の議論では分子に加わる重力を無視した。人間が実験のために用意できる大きさ (典型的には 0.1 m ~ 10 m 程度) の容器を用いて室温と同じくらいの温度で実験する場合に、重力を無視してもよいことを理解するために、次のような設定を思考実験として考えてみよう。分子に加わる重力を無視できなくなる状況というのは、気体分子の重力による位置エネルギーが運動エネルギーと同じくらいの大きさかそれよりも大きい場合である。容器の中で最も高い位置と最も低い位置の間における分子一つあたりの位置エネルギーの差は $2mgr$ [J] である。この差と分子一つあたりの平均運動エネルギー 24 $\times kT$ [J] を比較することにより、容器の半径 r を一定として温度 T が十分に 25 ときに重力を無視できなくなることがわかる。また、温度 T を一定として、容器が十分に 26 場合には重力を無視できなくなることがわかる。上記の位置エネルギー差と平均運動エネルギーが等しくなる容器半径を \tilde{r} [m] とおくと、 $\tilde{r} =$ 27 $\times \frac{kT}{mg}$ [m] と表され、重力の効果を無視できなくなる容器半径の目安を与える。単原子分子の種類が質量数 40 のアルゴン ($^{40}_{18}\text{Ar}$) であり、 $T = 3.0 \times 10^2$ K, $k = 1.4 \times 10^{-23}$ J/K, $g = 9.8$ m/s², アボガドロ定数を 6.0×10^{23} /mol として \tilde{r} の数値を求めると、 $\tilde{r} =$ 28 m である。

19 , 20 の解答群

- | | | |
|------------------------|--|--|
| ① mv_i | ② $mv_i \sin \theta_i$ | ③ $mv_i \cos \theta_i$ |
| ④ $2mv_i$ | ⑤ $2mv_i \sin \theta_i$ | ⑥ $2mv_i \cos \theta_i$ |
| ⑦ $\frac{1}{2} mv_i^2$ | ⑧ $\frac{1}{2} mv_i^2 \sin^2 \theta_i$ | ⑨ $\frac{1}{2} mv_i^2 \cos^2 \theta_i$ |
| ⑩ mv_i^2 | Ⓐ $mv_i^2 \sin^2 \theta_i$ | Ⓑ $mv_i^2 \cos^2 \theta_i$ |

21 の解答群

- | | | |
|-------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| ① $\frac{1}{2} r$ | ② $\frac{1}{2} r \sin \theta_i$ | ③ $\frac{1}{2} r \cos \theta_i$ |
| ④ r | ⑤ $r \sin \theta_i$ | ⑥ $r \cos \theta_i$ |
| ⑦ $2r$ | ⑧ $2r \sin \theta_i$ | ⑨ $2r \cos \theta_i$ |

22 の解答群

- | | | |
|--------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| ① $\frac{v_i}{2r}$ | ② $\frac{v_i}{2r \cos \theta_i}$ | ③ $\frac{v_i}{2r \sin \theta_i}$ |
| ④ $\frac{v_i}{r}$ | ⑤ $\frac{v_i}{r \cos \theta_i}$ | ⑥ $\frac{v_i}{r \sin \theta_i}$ |
| ⑦ $\frac{2v_i}{r}$ | ⑧ $\frac{2v_i}{r \cos \theta_i}$ | ⑨ $\frac{2v_i}{r \sin \theta_i}$ |

23 の解答群

- | | | | |
|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|
| ① $\frac{1}{4\pi r}$ | ② $\frac{1}{2\pi r}$ | ③ $\frac{3}{4\pi r}$ | ④ $\frac{1}{\pi r}$ |
| ⑤ $\frac{1}{4\pi r^2}$ | ⑥ $\frac{1}{2\pi r^2}$ | ⑦ $\frac{3}{4\pi r^2}$ | ⑧ $\frac{1}{\pi r^2}$ |
| ⑨ $\frac{1}{4\pi r^3}$ | ⑩ $\frac{1}{2\pi r^3}$ | Ⓐ $\frac{3}{4\pi r^3}$ | Ⓑ $\frac{1}{\pi r^3}$ |

24 , 27 の解答群

- | | | | | |
|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| ① $\frac{1}{2N}$ | ② $\frac{3}{4N}$ | ③ $\frac{1}{N}$ | ④ $\frac{5}{4N}$ | ⑤ $\frac{3}{2N}$ |
| ⑥ $\frac{1}{2}$ | ⑦ $\frac{3}{4}$ | ⑧ 1 | ⑨ $\frac{5}{4}$ | ⑩ $\frac{3}{2}$ |

25 の解答群

- ① 低い ② 高い

26 の解答群

- ① 小さい ② 大きい

28 の解答群

- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| ① 8.0×10^{-27} | ② 8.0×10^{-26} | ③ 8.0×10^{-25} | ④ 8.0×10^{-24} |
| ⑤ 4.8×10^2 | ⑥ 4.8×10^3 | ⑦ 4.8×10^4 | ⑧ 4.8×10^5 |

2025年度 一般入試・前期A日程解答例[1月26日実施]

英語「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・理工学部・建築学部・薬学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・情報学部・農学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部・短期大学部)

問題番号	Ⅰ						Ⅱ						Ⅲ						Ⅳ				Ⅴ				Ⅵ							Ⅶ											
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
正 解	エ	ウ	ウ	エ	ア	イ	ク	エ	オ	キ	ア	カ	イ	ウ	エ	ア	エ	イ	イ	ウ	ア	エ	ア	ウ	ウ	ア	イ	ア	ア	イ	ウ	オ	イ	ア	イ	エ	ア	イ	ウ	ウ	イ	エ	ア	ウ	エ

※44,45は順不同

国語「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・情報学部・農学部・生物理工学部・工学部[化学生命工]・産業理工学部・短期大学部)

問題番号	〔一〕													〔二〕								〔三〕							
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
正 解	4	4	3	2	2	1	3	3	1	3	2	1	4	4	3	2	2	4	1	4	3	3	1	4	4	1	4	2	2

文系数学「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・情報学部・短期大学部)

問題番号	I																			II																		
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
正 解	4	2	6	1	8	4	5	0	2	5	4	5	8	1	8	2	1	2	4	3	2	1	2	2	3	3	2	1	2	2	3	3	2	2	6	3	5	2
問題番号	III																																					
解答番号	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58																		
正 解	8	3	1	4	5	3	4	2	0	8	3	9	1	6	1	2	1	1	9	9																		

地理「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・農学部[農業生産科・水産・環境管理・生物機能科]・産業理工学部・短期大学部)

問題番号	Ⅰ													Ⅱ													Ⅲ														
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
正解	2	3	3	2	2	4	3	6	4	1	2	2	3	1	2	3	1	1	3	3	2	4	2	4	4	4	4	3	3	4	1	1	1	2	3	4	4	1	3	2	4

日本史「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・農学部[農業生産科・水産・環境管理・生物機能科]・産業理工学部・短期大学部)

問題番号	I										II										III										IV									
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正解	4	3	2	1	4	4	1	1	3	3	4	4	2	1	3	1	4	4	1	2	4	3	4	3	2	4	4	1	2	4	1	3	4	4	1	3	2	2	1	4

世界史「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・農学部[農業生産科・水産・環境管理・生物機能科]・産業理工学部・短期大学部)

問題番号	I																				II																				
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
正解	4	2	2	2	6	4	2	4	2	1	4	1	3	4	6	2	3	3	4	4	2	2	1	3	4	2	2	2	2	4	4	3	1	2	1	3	5	2	3	1	1

政治・経済「1/26」(法学部・経済学部・経営学部・文芸学部・総合社会学部・国際学部・短期大学部)

問題番号	I										II										III										IV									
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正解	1	2	4	3	1	3	2	4	1	1	3	2	1	4	1	2	4	4	3	3	4	3	4	1	2	3	1	4	4	1	2	1	2	3	1	3	4	1	3	2

数学①「1/26」(理工学部[理/化学・生命科]・建築学部・薬学部・農学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部)

問題番号	Ⅰ																				Ⅱ																							
解答番号	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ
正 解	ー	2	3	2	1	3	5	3	2	8	ー	3	4	3	7	7	8	1	8	1	8	2	9	1	9	2	7	1	2	2	3	3	5	1	3	3	2	9	6	4	3	4	7	9
問題番号	Ⅲ																																											
解答番号	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ																				
正 解	2	2	8	3	4	3	3	2	6	3	4	2	0	8	3	ー	2	8	8	4	2	3	3	9																				

数学②「1/26」(理工学部・建築学部・薬学部・情報学部・農学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部)

問題番号	Ⅰ																				Ⅱ																							
解答番号	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ
正 解	ー	2	3	2	1	3	5	3	2	8	ー	3	4	3	7	7	8	1	8	1	8	2	9	1	9	2	7	1	2	2	3	3	5	1	3	3	2	9	6	4	3	4	7	9
問題番号	Ⅲ																																											
解答番号	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ																									
正 解	2	1	6	2	3	2	3	1	3	ー	7	2	4	3	3	6	7	3	3																									

物理「1/26」(理工学部・建築学部・薬学部・情報学部・農学部・生物理工学部・工学部・産業理工学部)

問題番号	Ⅰ								Ⅱ										Ⅲ									
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
正 解	2	6	8	0	4	9	6	1	1	5	8	6	c	4	6	1	4	1	1	6	9	2	9	0	1	2	7	6



マナビズム 無料体験実施中

大阪府

上本町校
高槻校
豊中校
茨木校

北千里校

堺東校
枚方校
天王寺校
大阪梅田校

兵庫県

西宮北口校
神戸三宮校
姫路校

京都府

四条烏丸校

愛知県

名古屋駅前校
豊田校

滋賀県

草津校

全国対応

オンラインコース

申込は
コチラ

